

復活節第7週 歓迎礼拝

2017年5月28日

第一礼拝(午前8:00~) 歓迎礼拝(午前10:30~) 夕拝(休会)

第1部 **プレイズアワー PRAISE HOUR (賛美の時)**

※歓迎の賛美 ー 同

第2部 **バイブルアワー BIBLE HOUR (みことばの時)**

聖書朗読 『創世記』4章1-16節(旧約5頁) 司 会 者
 黙 想 一 同
 メッセージ 「何をささげるのか」 近 伸之牧師
 ※応答の賛美 新聖歌208「イエスは愛で満たす」 一 同
 感謝の献金 (新聖歌58) 一 同
 感謝祈禱 横堀 正美兄
 諸 案 内 (来信および集会案内) 司 会 者
 諸 報 告 (来会者紹介、報告および暗唱聖句) 近 伸之牧師
 ※頌栄の賛美 新聖歌198「**GOD BLESS YOU**」(1節のみ) 一 同
 ※派遣の賛美 新聖歌54「主の祈り」(前方スクリーン参照) 一 同
 ※祝福の祈り 近 伸之牧師
 ※後 奏 (新聖歌59-8)

第3部 **フェロウシップアワー FELLOWSHIP HOUR (交わりの時)**
 愛餐会

※印の所では、お身体の不自由な方以外はご起立をお願いします。

第一礼拝	司 会：近 伸之牧師 説 教	音 響：片山 勝三兄 献 金：沼田佐代子姉	
司 集 映	会：伊東 一馬兄 会：笹川 清子姉 像：男性有志	音響・賛美：賛美チーム 録 音：片山 勝三兄 説教の録画：近 伸之牧師	C S 担 当：近 伸之牧師 掃 除：長谷川睦子姉

説 教 メ モ

- 1) カインの誕生に両親は喜んだ(「得た」=カーニーン)。カインの蛮行は、愛情が希薄だったからではない。
- 2) 「〇〇とそのささげ物」。人格否定でも、奉納物の可否でもなく、「心をささげているか」を神は問っている。
- 3) 最初の殺人は礼拝の帰途に起こった。心を覆う皮を自らはがそうとしない礼拝に満足してはならない。

先週の暗唱聖句

「すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができず、ただ、神の恵みにより、キリスト・イエスによる贖いのゆえに、価なしに義と認められるのです」 (『ローマ人への手紙』3章23、24節)

今週の暗唱聖句

「罪は戸口で待ち伏せして、あなたを恋慕している。だが、あなたは、それを治めるべきである」 (『創世記』4章7節)

個人、団体からの来信

2017年5月28日

2017年度「次世代宣教セミナー」準備会のご案内[6月3日(土)午前10時~12時新津教会にて]／
 教団より、国外宣教デー[6月4日(日)]に関する課題など、定期便／KGK北陸よりNLNo.69、ほか／
 「アンテオケ宣教会NEWS」第218号／ひろくを救う会事務局より続報

先週の集会出席者数

5/21(日)	教会学校	幼児男子1 小学男子- 中学男子- 高校男子- 男児1 成人男性- 幼児女子3 小学女子1 中学女子- 高校女子- 女児4 成人女性3		
	第一礼拝	男2 女3 女児1		※月に一回、実用書道教室を開催
	第二礼拝	男13 女20 計33	5/22(月)	月曜家庭集会 男3 女4
	(子ども)	男児1 女児4	5/24(水)	ネヘミヤ祈禱会 男3 女5
	夕 拝	(休会)	5/25(木)	しゃべり場タビタ 男- 女4
			5/26(金)	金曜祈禱会 男- 女2

諸集会のご案内

5/29(月)午前9:30	実用書道教室	聖書：『創世記』1章26節	書の指導：藤田美保姉
5/29(月)	月曜家庭集会	(休会)	
5/31(水)午後7:30	バルナバ祈禱会	教会堂	司 会：横堀 正美兄
6/2(金)午後1:30	しゃべり場タビタ	渡邊智子姉宅	問合せ先：長谷川睦子姉
6/2(金)夜	金曜祈禱会	教会堂	
6/4(日) 聖霊降臨節第1週(ペンテコステ) 同盟教団の国外宣教デー			
第一礼拝 午前8:00	司 会：近 伸之牧師 説 教	音 響：片山 勝三兄 献 金：沼田佐代子姉	聖餐準備：担当役員 配 餐：担当役員
教会学校 午前9:00		担 当：佐藤 繁実兄	
聖餐礼拝 午前10:30	司 会：近 伸之牧師 集 会：横堀 信子姉 山岸あけみ姉	映像・音響：山崎 敬典兄 聖餐の配餐：片山 勝三兄 説教の録画：近 伸之牧師	感謝祈禱：渡邊 智子姉 掃 除：猪爪 和美姉
礼拝について	聖書：『創世記』4章17節-5章32節		
午後の予定	礼拝後にCS教師会 ※午後3時より小針福音ルーテル教会(若林牧師)の献堂式		
夕 拝	※諸般の事情により、夕拝は休会とします		

報 告

1. 本日の予定
 本日はライフ・ラインDayの歓迎礼拝でした。この後は第3部として愛餐(昼食の時)を持ちます。また、午後2:00より木南先生の指導のもと、礼拝堂でT-Breeze(賛美練習)を行います。
2. 先週の来信について
 新潟福音放送協力会より、ニューステターNo.233および会計報告が届きました。
 PBAからは「PBACHALLENGE!!」と「PBA On-Air!」が届いています。どうぞご覧ください。
3. 来月の予定について
 6月3日(土)午後2:00より新潟福音教会において「ライフラインのつどい2017」が開催されます。
 6月4日(日)午後3時より小針福音ルーテル教会(若林牧師)の献堂式が執り行われます。
 6月10日(土)午前10:30より、宣教区壮年会主催で村上教会新会堂予定地での作業が行われます。

聖書の中でイエス様は、「砂の上に建てた家」と「岩の上に建てた家」の例え話をなさっています。まず第一に、「砂の上に建てた家」についてこう言われました。

「わたしのこれらのことばを聞いてそれを行わない者はみな、砂の上に自分の家を建てた愚かな人に比べることができます。雨が降って洪水が押し寄せ、風が吹いてその家に打ちつけると、倒れてしまいました。しかもそれはひどい倒れ方でした。」

(マタイの福音書7章26、27節)

もう何十年も前になりますが、大地震の報道写真で今も私の脳裏に焼きついて離れないものがあります。何階建てだったか、高い、大きい、立派な鉄筋コンクリートの、しかも新しい、美しいビルがそのまま完全に横倒しになり、腹を全部見せているのです。砂地の上に建てた家。イエス様の言葉どおりの、ひどい倒れ方の典型でした。硬い岩盤の上でなく、砂の上に建てたからです。平穏無事のときは立派に美しく建っていたのに、大災害にあつて、ひとたまりもありませんでした。

ある時、深夜に50歳代の主婦の方から電話がありました。「先生、私の家、崩れて倒れそうな

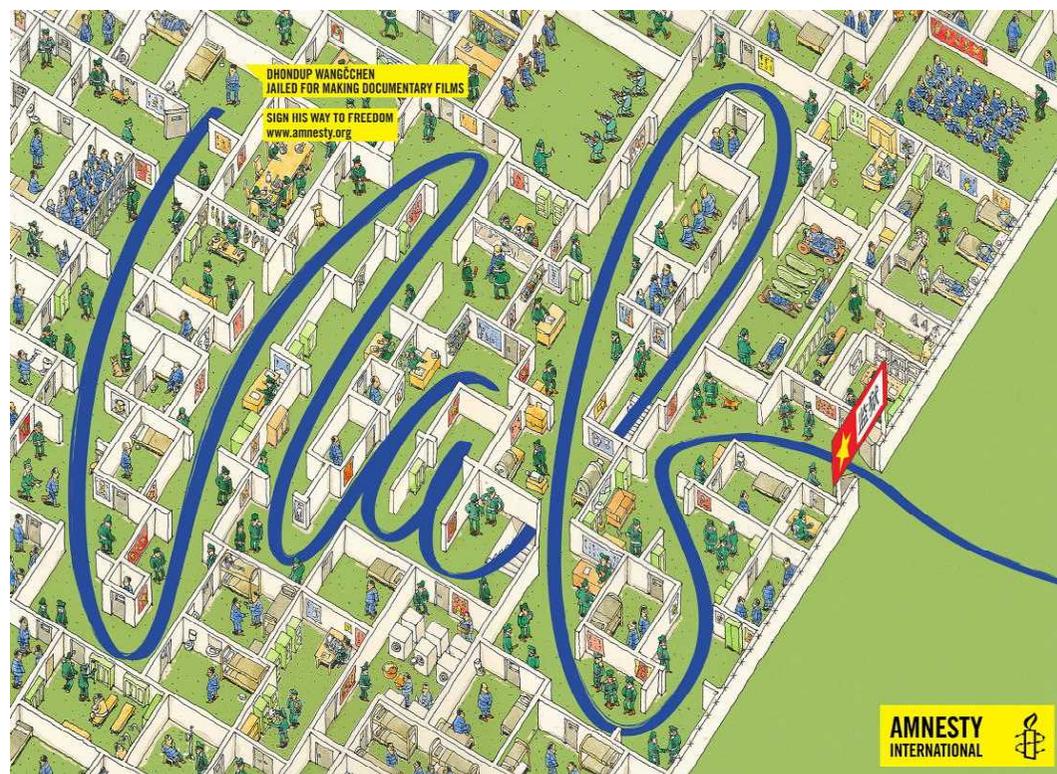
んです。助けてください」と泣きながらの訴えでした。夫はサラリーマンですが、不登校ならぬ会社拒否。長女は心の病で長年病院を出たり入ったり。長男の高校生は家を出て下宿し、学校にも行かず非行ごっこ。ただひとりまともだと思っていた次女が、自殺してしまいました。「先生、私は何回、一家皆殺しにして、自分も死のうと思つたことか。助けてください」。

まじめに一生懸命に生きようとしていたご家族です。気の毒です。同情にあまりあります。しかしこの原因は、「砂の上に」人生が築かれていたからです。今はいい、大丈夫。ただし大きな病気、倒産、死、そして最後に世の終わりの裁きが襲うとき、何パーセントの人生が持ちこたえられましょうか。

神を離れた人間は悲惨です。自分自身とその健康、その才能、そのお金などに頼り、唯一の不変な神様の愛を真実に信頼しない、従わない人生は、すべて「砂の上に」建てられた人生ではないでしょうか。聖書の言葉です。

「主はわがいざお巖、わがとりで、わが救い主。」
(詩篇18篇2節)

(羽鳥明)



1961年5月28日、政治権力による人権侵害を守るための国際民間機関、「アムネスティ・インターナショナル」が発足した。同団体は独裁国家で不当に投獄された人々を解放するための啓発活動も行っている。イラストは、複雑な牢獄からの唯一の正しい脱出路を人の「サイン」によって表現したもの。「ひとり一人の署名が、無実の罪により捕らえられている人々を救い出す」というメッセージがこめられている。

 ライフライン 毎週土曜日 朝5:15~5:45 BSNテレビにて放送中です。
☆24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



6/3(土)「時にかばって」新田昌弘さん

北海道札幌市を拠点に活動する津軽三味線奏者の新田昌弘さんは、同じ三味線奏者の父親の影響を受けて、14歳から津軽三味線を始め、その7か月後に東京大会で優勝。その後、全国大会で連覇を達成しました。幅広く活動をしている新田さんは、世界各国でも演奏活動を行い、国際文化芸術交流に貢献しています。そんな新田さんは、あることがきっかけでキリスト教会に通うようになりました。演奏をお届けするとともに新田さんにお話を伺います。

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata
BEGin. ここから始まるあなたの伝道。

私たち豊栄キリスト教会は、
『ライフ・ライン』の協力教会です。

2017年度教会目標 「受けるよりも与えることを」

「主イエスご自身が、『受けるよりも与えるほうが幸いである』と言われたみことばを思い出すべきことを、私は、万事につけ、あなたがたに示して来たのです」

(『使徒の働き』20章35節)

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区
豊栄キリスト教会 (牧師 近 伸之)

TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155

ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.net>

電子メール: info@toyosakakyokai.net

ブログ: <http://toyosakakyokai.seesaa.net>

